

Q15

内閣府沖縄担当部局予算(沖縄振興予算)は沖縄県にだけ3,000億円上乗せされているので、米軍基地を負担するのは当然ではないですか。

A

沖縄振興予算は、各種振興策を実施するために内閣府沖縄担当部局に一括して計上される予算のことで、平成29年度当初予算案で3,150億円となっています。

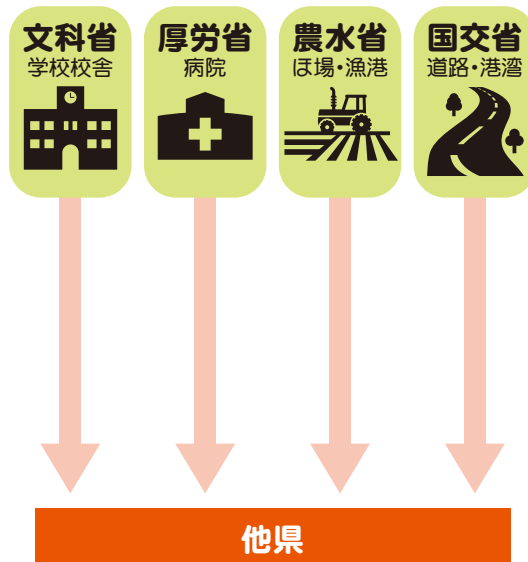
沖縄振興予算は、振興策を総合的かつ計画的に推進するため、他県であれば各省庁が個別に計上する、道路や港湾、病院や学校の校舎等の施設の整備に要する費用等も、内閣府沖縄担当部局が一括して計上する仕組みになっています。

他県にはない独自の仕組みであるため、しばしば誤解されることがありますが、他県と同様の交付金・補助金の枠組みに加えてさらに3,000億円の予算が別途上乗せされているわけではありません。

沖縄振興予算の内閣府一括計上のイメージ

他県の場合

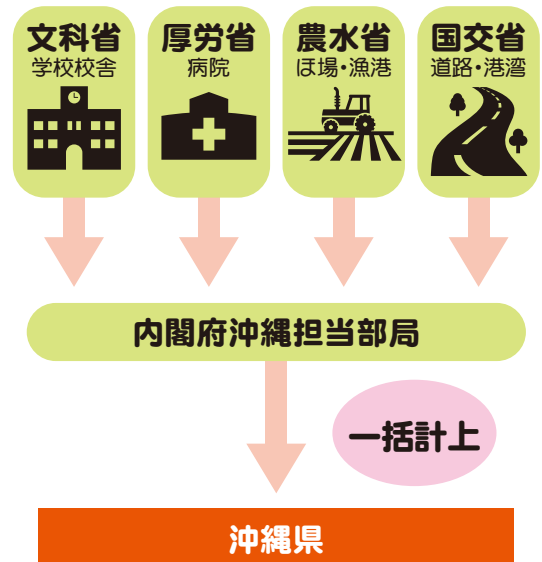
道路や港湾、病院、学校の校舎等の整備や
農山漁村地域整備に要する費用等を、
各省庁が個別に予算計上



分野ごとに各省庁が
個別に予算を計上する

沖縄県の場合

道路や港湾、病院、学校の校舎等の整備や
農山漁村地域整備に要する費用等も、
内閣府で一括して予算計上



内閣府沖縄担当部局が
一括して予算を計上する

→他県では各省庁が個別に計上する予算を、沖縄県では内閣府沖縄担当部局予算において内閣府が一括計上(ただし、全国一律の制度である年金、医療、介護に関する社会保障関係費や義務教育国庫負担金等は含まれていない)している。これは、沖縄が米軍の施政権下に置かれていた27年間、各省庁に直接予算要求する機会がなかったこと等もあり、国への予算要求を一体的に行い、必要な予算を確保することも目的としている。